

「地域とともに歩む学校」をめざして

小浜市立宮川小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	9回(のべ)9日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	23人
授業ボランティア(含:低ボラ)	31人
登下校支援ボランティア	1500人
その他(給食感謝集会ゲスト)	3人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

【具体的活動内容】

本校は、毎年地区の農家をお願いして、田植えや稲刈りの体験学習をさせていただき、地域の産業についての理解を深めてきた。ところが今年は昨年協力していただいた農家の事情により、稲作体験を引き受けてもらえなくなり、その実施が難しくなってしまった。

そこで、地域・学校協議会のメンバーの方をお願いし、どこか引き受けていただける農家を探していただいたところ、学校の近くに田んぼを持つ方が、快く引き受けてくださり、例年のように体験学習を行うことができた。

5/2、晴天の下に全校児童が参加し、田植えを行った。1年生の中には田んぼに入ることに抵抗がある児童もいたが、地域の方や上級生に教わりながら、次第に上手に苗を植えられるようになった。

9/2、稲刈りには4年生以上の児童が参加し、鎌を使ってきばきと手際よく刈り進め、仕上げはコンバインによる刈り取りを見学したり、コンバインに乗せてもらって稲刈りを体験するなど、楽しく作業に取り組むことができた。収穫した米は、購入して10月からの給食でおいしくいただくことができた。

今年は、一時は稲作体験学習をあきらめかけたこともあったが、地域・学校協議会や地域の方のご尽力、ご協力のおかげで実施することができ、本当によかった。

5/2〈田植え〉…地区の方とともに!



9/2〈イネ刈り〉…収穫の喜び!



【成果と課題】

宮川地区は稲作を中心とした農業の盛んな地域であるが、児童には農作業の体験が乏しい子が多いため、今回の体験は大変有意義であったと思われる。しかし農業は天候に左右されることが多いため、学校の都合に合わせなければならない本行事の引き受け手がなかなか見つからず、今後もその確保が課題となってくる。学校としては、本行事に限らず、平日頃から学校教育への理解と協力を地域に求めていかなければならない。

